

## CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)京田辺市大住池ノ端 計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

## スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.33			<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		2.5	0.15			2.5
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40			
1.2 遮音		1.8	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	0.60			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能		3.0	0.25			
3 ソーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0		
<b>3 光・視環境</b>		2.8	0.25			2.8
3.1 昼光利用		3.6	0.30			
1 昼光率	昼光率2.3%	4.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0		
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30			
1 昼光制御		2.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		3.7	0.25			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	3.0		
4.2 換気		3.6	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能	開口面積1/15以上	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>			0.30			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		2.8	0.40			2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30			
1 広さ感・景観	天井高3.0m	5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33	1.0		
1.3 維持管理		2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要上位3種類の内、2種類以上にB以上を使用	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20			
2.4 信頼性		2.8	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		2.0	0.20			

3	対応性・更新性		3.4	0.30		-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30		-	
	1 階高のゆとり	階高4.0m以上	5.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	0.1≦壁長さ比率<0.3	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		3.0	0.37		-	2.4
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.1
LR1	エネルギー			0.40			3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIm0.67	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEIm0.83	2.8	0.50		-	2.8
4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価					-	
	4.1 モニタリング					-	
	4.2 運用管理体制					-	
LR2	資源(マテリアル)			0.30			3.2
1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水		4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	節水型便器を採用	3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60		-	3.3
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル	3.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS工法、OAフロアを採用	5.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤					-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境			0.30			2.9
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2 88%	3.4	0.33		-	3.4
2	地域環境への配慮		2.4	0.33		-	2.4
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	1.00		-	
	2 振動					-	
	3 悪臭					-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		1.0			-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)京田辺市大住池ノ端 計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	2.0		-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	1.0	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		-	1.0	-	-	1.0	2.0	-	1.0	-	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0		1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び室内照明のうちに置れる光への対策	2.0		-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム 4.0	屋根 2.0	外壁 2.0
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	ηAG -
ηAH -			
昼光率	0.0%		
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	8.0㎡/人	病床	8.0㎡/床	シングル	15.0㎡ ツイン	22.0㎡
--------	--------	----	--------	------	-----------	-------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	30.0 VA/㎡
---------	-----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	0 m
-----	-----

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	3.4 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	30.0%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	4000 N/m2
-----	-----------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	15%	建物緑化指数	4%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	40%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	6%	舗装面積率	26%
-----	-----	---------	----	----------	----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI <sub>m</sub>	0.67	断熱等性能等級	対象外 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI <sub>m</sub>	非住宅 0.83	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	----------	----	---	-----	------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	5.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1430
---------------	---	--------------	------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	#DIV/DI	隣接間隔指標Rw	0.40
地表面対策面積率	6.0%	屋根面対策面積率	#DIV/DI
外壁面対策面積率	#DIV/OI		
見付面積S <sub>b</sub>	m	卓越風向と直交する最大敷地幅W <sub>s</sub>	0 m
緑地	258㎡	水面	m
保水性対策面	m	高反射対策面	m
再帰性反射対策面	m		